

329.17

Ko413s

上海租界ノ敵性調査

- 第一部 共同租界工部局警察 -

興亞院華中連絡部

国立国会図書館



0018173001

0018173-001

329.17-Ko413s

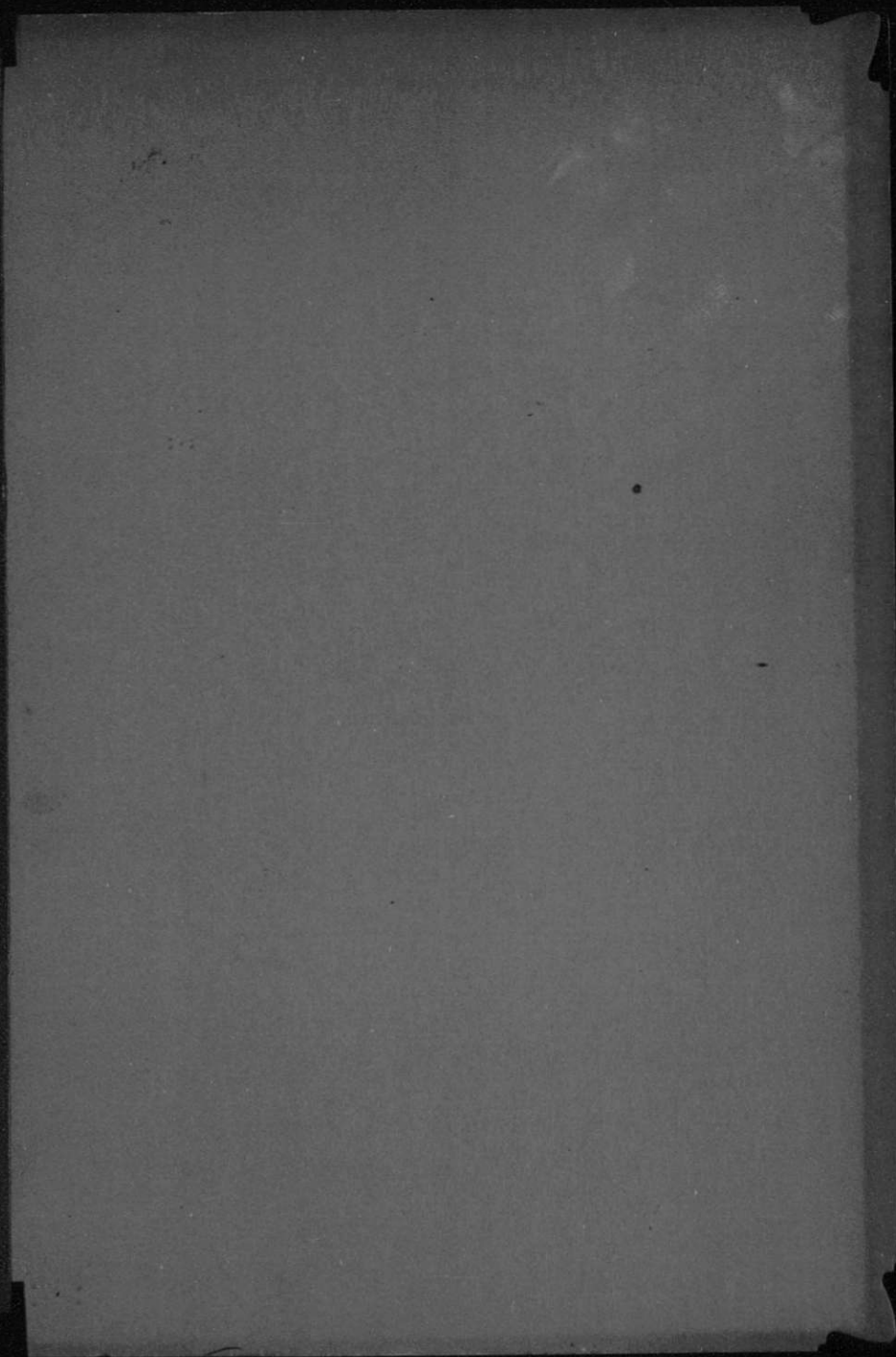
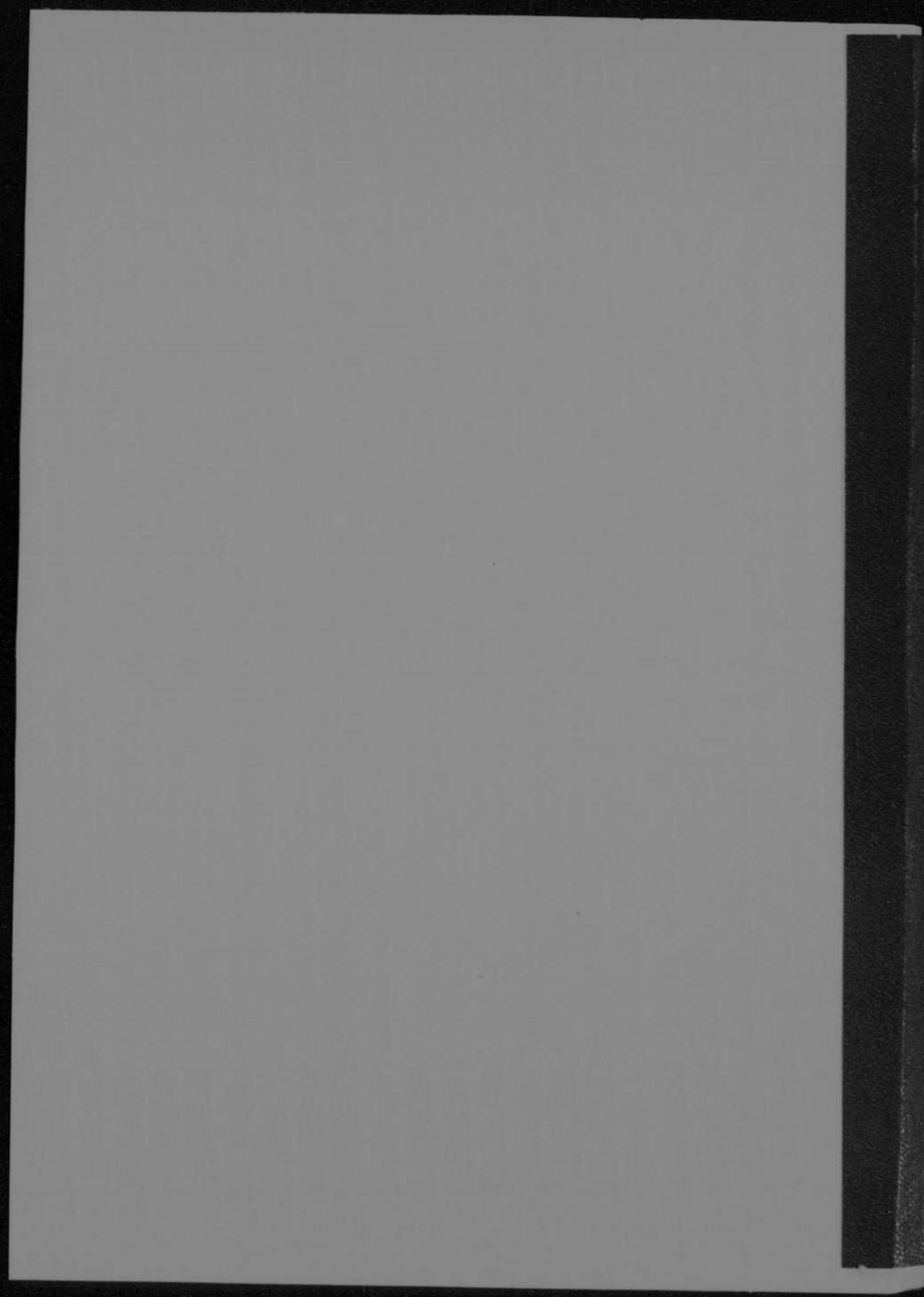
上海租界ノ敵性調査

興亞院華中連絡部

第1-2部

1940

ACJ





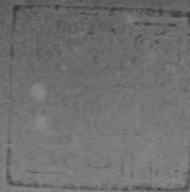
和十五年七月
華中連絡部調査機關シアリーズ第三十六輯ノ一

上海租界ノ敵性調査

第一部共同租界工部局警察

興亞院華中連絡部

329.17
K0413A



はしがき

一、本輯は當部調査機關政務調査室擔當の「上海租界ノ敵性調査」中「共同租界工部局警察」の調査である。
一、本調査の調査係は興亞院臨時囑託木崎克である。

A70
73



寄贈圖書
16 5 20 冊
寄贈者 興亞院

113287

目次

第一章	英國獨占ノ警察機構……………	一
第二章	現機構ハゼラード少佐案……………	六
第三章	機構内部ノ簡別的檢討……………	八
(一)	警視總監部……………	八
(二)	警務課……………	一二
(三)	刑事課……………	一七
(四)	特高課……………	一九
(五)	交通課……………	二一
(六)	日本課……………	二三
(七)	巡查教習所及ヒ武裝豫備隊……………	二九
(八)	義勇巡查隊……………	三一
(九)	刑事所……………	三二
(十)	警察番人制度……………	三四

第一章 英國ニヨリ獨占サレタル工部局警察機構

上海共同租界警察ノ組織ハ別表圖解ノ如ク警視總監ノ下ニ英國人副總監
又ハ總監補ヲ課長トスル警務、刑事、特高、交通ノ四課、及ビ日本人副總
監ヲ課長トスル日本課ガアル。總監ハ別ニ刑務所及ビ義勇巡查隊ヲ指揮
監督スルモノデアル。是等各課中、警務課長ハ職務ノ關係上他課長ニ比シ
テ優位ニアリ、總監不在ノ際ハ總監ノ事務ヲ代行スルヲ普通トシテキル。
各課ノ下ニ、警務課ニ在リテハ區長、署長等、其他ニ在リテハ係主任、
分科主任ガアルガ、何レモ英國人ヲ以テコレヲ固メ、日支人警官ニアリテ
ハ階級ノ上下ヲ問ハズ、絕對ニ英人職員ノ補佐ニ終始シ、責任アル警察行
政ニハ直接關與セシメラレザル實情デアル。況ンヤ印度人警官ノ如キハ、
如何ニ才能アリト雖モ警部以上ニハ昇進スルコトガ出來ナイ條件ノ下ニ置
カレテキル。日本及ビ支那ニ對シテハ、警視、監察官、副總監等ヲ任命シ
テハキルガ、内部ニ於ケル職務上ノ實權カラハ全く游離セシメラレテキル。
工部局警察ノ上部組織ハ警視總監以下警視總監補マデノ十五名ヲ幹部ト
シテキル。ソノ英、日、支、三國ノ比率ハ、

英國 警視總監一名、副總監三名、總監補六名。

日本 副總監二名、總監補一名。

支那 副總監一名、總監補一名。

斯クノ如ク十五名ノ幹部中絶對大多數タル十名ヲ獨占シ、然モ各課（日本課ヲ除ク）ノ主任トシテ實權ヲ握リ、又總監補以下ノ階級（英人警官約四百二十、日本人三百、印度人五百二十、支那人三千六百五十名）ニ於テモ英國人ノミハ、給與職權等ニ格段ノ差異ヲ附サレテキル。又新シク就任スルニ當ツテハ、英人ノミ初任ヨリ巡查部長見習（註）トシテ任官セシメ、他警官ノ指揮監督ノ地位ニ置キ、一方特別ニ警察行政上ノ學問、重要職務ノ訓練等ヲ受ケシメテ昇進ヲ容易ナラメシ、カクテ上部人事ノ獨占ヲ永續シテ警察機關ノ要位ヲ自己ノ權益機構化シタノデアアル。サレバ英人以外ノ警官ハ英人ヲ補佐シテ其ノ命令下ニ在ツテ職務ニ當リ、眞ニ重要ト目サル、ガ如キ警察本來ノ任務カラハ除外セシメラレ、傍系ノ地位ニ終始セシメラル、狀態ニ在ル。

斯クノ如ク英人ヲ以テ組織ヲ強化シタ租界警察ハ外部ニ於テハ關係列國官憲ノ干涉ヲ排除スルト共ニ、内部ニ於テハ英國ノ利益擁護ヲ目的トシテ警察權ノ發動ヲ容易

ナラシメルコトニ成功シテキル。從ツテ支那ニ於ケル英國ノ活動ハ大小トナク租界内ノ此種機構ト密接ナル關聯ヲ持チ、ソノ政策遂行上不可缺ノ機關トシテ重要ナル役割ヲ果シテ來タ。今日ニ於テハ租界警察ノ内容ハ、各國人共同ノ警察ト云フベキ本然ノ性格ヨリ離脱シテ全ク英國本位トナリ、英國ノ對支特務機關ト云フモ過言ナラザル組織トナツテキル。

（註）工部局警察勤務日本人警官ハ昭和十四年五月一日ヨリ初任級ヲ巡查部長見習トナシ、外人隊第二セクシヨントシテ編入サレルコトニナツタガ、コレハ全ク名實一致セズ、ソノ權限職務ノ上ニハ何等ノ變化ヲモ來シテキナイ。コノ欺瞞手段ニ憤激シタ工部局日本人警官二百七十餘名ハ、同年十二月二十四日、一致結束シテ改革要求ヲ赤木特別副總監ニ提出シ、コレヲボーン警視總監ニ要求、ソノ實現ヲ迫ツタガ、結局日本總領事館ノ協調方針ノ下ニ鎮壓セラレタノデアアル。

斯クノ如キ日本人警官ノ反撥的行爲コソ明確ニ工部局警察内ニ於ケル英人獨占ノ宿弊ト、形式的ナ部長見習採用制ノ欺瞞性ヲ暴露シテキル。コノ運動ヘノ批判トソノ後ノ經過ニ關スル調査報告ハ

後章ニ廻スガ、コ、ニ彼等ノ要求條件ヲ掲ゲテ置ク。

四

(昭和十四年十月廿四日提出)

外交々渉ニ依リ解決スベキ具体的要求事項

一、日本人居留民ノ多數居住區域ニ於ケル區長及署長ハ日本人之
ニ任ズ

一、總監、刑事、警務、特高ニ日本人任命

一、一、二、セクシヨンノ實質的差別撤廢

一、邦文採用ノ件

一、警察豫算編成ノ委員中ニ實質的權限ヲ有スル日本人ヲ參畫セ
シメヨ

一、日本隊員最少限度五百名迄至急増加セシメヨ

特別副總監ノ事務的交渉ニ依リ解決サルベキ具体的要求事項

一、陸海外ノ三省及維新政府トノ連絡強化ノタメ新聯絡機關ノ設
置

一、現在日本隊無キ署ニ日本隊新設ヲ要ス

一、敵性アル勤務ノ拒否

一、日本人法律顧問ノ採用

一、抗日犯人ノ搜索檢舉ハ日本人警察隊員ヲ主体トシ犯人引渡シ

ニ關シテハ日本人主腦者ノ決定ニ依ルコト

一、日本人檢察官ノ人事行政ハ日本人首腦者之ヲ管舉シ絶對ニ外
人ノ容喙許サシメザルコト

一、部長試験通過者全部即時任命、而シテソノ試験制度ハ一部(セ
クシヨン一)ニ準ズ

一、部長代理ノ設定ハ必要ヲ認メズ

一、日本隊官舎ノ増設要求

一、パッチニ日本ノ國旗ヲ入レヨ

一、チャージルム勤務ニ日本人採用

一、教習中ハ勿論、一般隊員ニ自動車及ビサイドカー運轉ヲ練習
セシムルコト

一、日本隊首腦部ニ官給車ヲ配備スルコト

一、支那人職員ニ日本隊手當ヲ支給セヨ

一、適當ナル機密費ヲ日本隊ニテ獲得スルコト

五

一、日本隊部長見習ハ入隊ヲ基準トシ外人隊ニ對スルモノトセヨ

第二章 現機構ハゼラー少佐案

租界警察機構ノ簡單ナ史的考察

租界警察ガソノ形態ヲ備フルニ至レルハ一八五三年ノ英租界時代デアッタ。當時租界當局ハ漸ク警察隊設置ノ必要ヲ認ムルニ至リ、香港政廳ニ依頼シ、同廳警察部警部クリフトン (S. Clifton) 及ビ英人巡查八名ヲ招聘スルコト、シ、右警部ヲ租界警察部長、當時ノ官名 (Superintendent of Police) トシテ租界警察ノ充實ヲ計リ翌年更ニ二十數名ノ英人警官ヲ採用、一八六四年ニハ警官數百六十四名トナツタガ、經費節約及内容改變ニ依リ英人巡查ヲ制限シ、之ニ代フルニ印度人及ビ支那人巡查ヲ採用スルコト、ナツタ。一八五三年警察部設置當時、租界歳出額約二萬五千弗、ソノ内容ハ警察費過半ヲ占メ、一萬四千弗、警察部長クリフトンノ月俸百五十拾弗ハ租界吏員ノ最高俸デアッタ。

一八六三年米英租界ハ合シテ共同租界トナツテカラハ、地域ハ擴張セラ

レ、人口ハ激增シ、國際通商貿易上中支ハ勿論支那全土ノ中心貿易港トナリ、加之國民政府ガ成立シテ首都ヲ南京ニ定ムルコト、ナルヤ地理的關係ヨリ租界ノ地位ハ政治外交上、ソノ重要性ヲ更ニ擴大スルコト、ナツタノデアル。租界ニ對支活動ノ本據ヲ置ク英國ハ治安維持ノ公式的觀點ヲ理由トシテ租界警察權ノ獨占ヲ企圖シ、一九二八年印度政廳ヨリゼラー少佐 (Major F. W. Gerrard) ヲ招聘シ、租界警察ノ機構改變策攻究ニ當ラシメタ。即チ現租界警察組織ハ同少佐ノ考案ニシテ、同少佐ハ一九三八年五月、退職スルマデ約十年、警視總監トシテ自己ノ考案ニナル警察組織ヲ實行シテ來タノデアル。

同少佐ノ改變案ノ骨子ハ、英國ノ租界ニ保有スル傳統的勢力ヲ如何ニシテ確保スルカニアツタ。更ニ一面新興勢力タル日本及支那ノ要求ヲモ容認セザルヲ得ヌ情勢ニ對應シテ之ガ對策ヲ樹立スルニアツタ。即チ同少佐ハ總監ニ就任スルヤ英人高級幹部ヲ増員スルト共ニ、極ク少數ノ日支高級警官ヲ任命シ同等待遇ヲ與フルモ何等ノ實權ヲ附與セズニ、單ニ英人ノ警察官ノ補佐又ハ日支夫々ノ警官ノ人事監督ニ終始セシメ最モ緊要ナル警察事務ニハ直接關與セシメズ、所謂名ヲ與ヘテ實ヲ取ラシメザル主義方針ノ下

ニ日支人ノ租界警察關與方針ヲ立案スルト全時ニ、全機構ヲ警視總監獨裁ノ下ニ改組シ、事件ノ大小ニ拘ラズ凡ユル場合ニ於テ總監ノ決裁ヲ必要トスル極端ナル總監集權制度ヲ確立シタノデアル。

斯クシテ日支人警官ノ活動ヲ封ジ、凡ユル要職ヲ英人ヲ以テ固メ秘密主義ヲ以テ英國ノ利益擁護機關タラシムルヲ以テ最大ノ目的トシ、組織ノ根幹トシタノデアル。

改變機構ノ全般的記述トソノ批判ハ後章ニ述ベルガ、少クトモ現下ノ租界警察對策ハ、コノゼラード少佐案ノ修正ニソノ基礎ガ置カレネバナラナイコトハ確實デアル。ゼラード少佐ハ今事變中、上海南京路ヲ皇軍ガ行進ノ際ニ抗日分子ニヨリ爆彈事件ガ起ツタ時、「楠本ゼラード協定」ヲ作ツテ租界ノ治安ヲ確約シタノデ日本ニモ知名デアル。

第三章 機構内部ノ簡別的檢討

一、警 視 總 監 部

Office of Commissioner of Police

警視總監部ハ總監ノ補佐官トモ謂フベキ日本人特別副總監及ビ支那人副總監各一名、並ニ總監秘書ニヨリ成ル。

總監ガ租界警察事務遂行ニ關シ、總監集權的ニ廣汎ナル權限ヲ有スル事情ニ就イテハ既述ノ如クデアルガ、警察事務ガ國際的ニ甚ダ複雑多岐ナルヲ以テ、ソノ職權行使ニ當リ慎重ナル考慮ノ拂ハルベキハ言ヲ俟タナイ。從來長ク英人獨裁主義ヲ敢行セル租界當局ニ於テモ第一次歐洲大戰後、躍進的ニ發展セル日本居留民ノ地位、及ビ新興支那勢力ノ租界内進展ヲ無視シ得ズ、是等兩國關係警察事務處理ノタメ、一九二九年、内部的ニハ總監ノ相談役トシテ、又日支人警官ノ人事監督者トシテ、外部的ニハ租界警察ト日支官民トノ聯絡機關トシテ、日支兩國人ノ警視總監補 (Assistant Commissioner) 各一名ノ任命ヲ見タノデアル。一九三四年、英人側警視副總監 (Deputy Commissioner) ノ増員セラル、ニ及ビ前記日支人總監補モ亦副總監ニ昇格セラレソノ空席ハ日支人監察官ノ昇格ニ依リ充當セラレタ。上海事變勃發後、日本當局ハ租界治安維持ノ徹底、殊ニ抗日テロ團ノ彈壓、日本人警官ノ重用問題等ニ關シ、租界當局ニ對シ、屢々重大要求ヲ提起シ來タツタノデアツタガ、昭和十三年正月ノ南京路テロ事件發生ト共ニ

日本側ノ要求ガ甚ダシク強硬トナリ、租界側ニ於テモ之ニ對シ何等カノ措置ニ出デザルヲ得ヌ事態トナツタ爲兩者折衝ノ結果漸ク租界治安ニ關スル取極ヲ交シタ。

右取極中日本人警官重用問題ニ關シ「租界當局ハ租界警察日本隊ノ地位權限ヲ高メ、其ノ數ヲ増加シ、新ニ日本人特別副總監 (Special Deputy Commissioner) 一名ヲ任命ス」トノ項目ニ基キ、同年五月日本人高級警官一名ノ増員ヲ見ルコト、ナツタノデアル。

然シ乍ラ折角新シク任ゼラレタル地位ハ從來ノ日支人副總監ノ場合ト實質的ニ何等ノ差違ナク總監ニ對スル相談役、又ハ日本側トノ聯絡官タルニ過ギザル有様デアル。右特別副總監任命後從來ノ日本人副總監ハ、新設セラレタル日本課 (Japanese Affire Branch) ノ課長トナツタ。

氏ノ總監ニ對スル補佐官任命ノ趣旨ハ一ツニ總監部ノミニ限ラズ後述スルガ如ク警務課ハ各區、各署ノ場合ニモ適用サレテキル。

即チ日支人補佐官ハ階級ノ如何ヲ問ハズ特定ノ管掌事項乃至執行權ヲ與ヘラレテ居ラナイ。從ツテ一部ニハ、現在ノ特別副總監赤木親之氏ハ「高級通譯官」ニ過ギナイト評サレテキルガ、コレハ決シテ漫然タル惡罵デハ

ナク、事實ニ於テ、特別副總監ノ地位ハ、日本側ノ嚴タル要求ヲ一時緩和セシメルタメ、英當局ノ打ツタ政治的手段ノ產物ニシテ、何等ノ實權ヲモ伴ハシメテキナイ。從ツテ極言スルナラバ現在ノ特別副總監ノ權能ヲ以テシテハ、只ノ一人ノ英人警官、或ヒハ支那巡捕ヲスラ自由ニ動カスコトノ出來ナイ組織ガ内部ニ確立サレテキルノデアル。

(註) 昭和十五年三月一日、上海日本總領事館ト共同租界市參事會トノ間ニ、蘇州河以北區域ヘノ工部局警察權復歸ノ取極ガ調印サレ、且警察區ノ新設等モ全時ニ正式決定ヲ見タノデアルガ、ソノ取極第二條ニ於テ、特別副總監ノ地位、權限ニ關シ、次ノ如ク何等ノ實質的權限ナク、英人ノ普通ノ副總監 (ソレハ現在五人モキル) ノ下風ニ立ツモノデアルコトハ一讀シテ明白ニ規定サレテキル。即チ「特別警視副總監ハソノ任命セラレタル特別ノ資格ニ於テ警察事務全般ニ亘リ警視總監ノ直接ノ助言者トシテ行動シ、且ツ右特別ノ資格ニ於イテ、ソノ權能及ビ權限ハ常ニ警視總監、又ハ警視總監ノ病氣若クハ休暇ニ依ル不在中、任命セラルベキ警視總監代理ニ次グモノトス」

向、特別警視總監が最初ニ創設サレタ時、租界側内部ニハ SP-1
social デナク Extra ノ言葉ヲ「特別」ノ意ニ用フベキデアルトノ
意見ガ強カツタ。コレニ依ツテミルモ彼等ノ日本ニ對スル欺瞞的
意圖ハ充分ニ窺ヒ知ルコトガ出來ル。

二、警務課 (Divisions)

警務課ハ租界警察活動ノ中心ヲナスモノニシテ、同課長ハ租界警官五千
ヲ總監ニ代リ直接指導監督スルモノデアアル。從ツテ同課長ニハ英人副總監
中最古參者ヲ任命スルヲ普通トスル。日、支、印度人警官ノ人事其他ノ雜
務ハ日、支人ノ場合ハ日、支人總監補、印度人ノ場合ハ英人總監補ノ補佐
ニ依リ之ヲ處理シ警務課全般ノ庶務ハ秘書官ニ於テ之ヲ行フ。右ハ警務課
本部ノ陣容ナルガ、租界内十四警察署ハ區長ヲ通ジ警務課長ノ監督下ニ在
ル。

別表ノ如ク共同租界ハ "A" "B" "C" "D" ノ四警察區 (註一)ニ
分割セラレ、ソノ區長ニハ普通總監補ヲ充當スルモ時ニ人事ノ都合上古參
監察官ヲ之ニ任命スルコトモアル。何レノ場合ヲ問ハズ英人ナルコトハ勿

論デアアル。現在 A 區區長ハ老關署ニ、B 區區長ハ新關署ニ、C 區區長ハ虹
口署ニ、又 D 區區長ハ匯山署ニ事務所ヲ置キ關係各區ヲ統卒スル。

區長ノ下ニ各區刑事々務ヲ監督スル刑事區長ガアル。區長ハ所謂制服隊
ノ長ニシテ刑事區長ハ私服隊ノ長デアアル。前者ハ防犯事務ニ當リ、後者ハ
犯人ノ檢舉搜查ニ當ルモノデアアル。區長ハ管内總テノ警察事務ヲ統轄シ、
刑事區長ハ同様管内刑事々務ヲ監督スル。右ト全様ノ關係ニ於テ區長及ビ
刑事區長ノ指揮ノ下ニ警察署長及各署刑事主任ガアル。又各署ニハ、英人
警部補又ハ巡查部長ガ當番勤務トシテ受付事務 Charge Room (註二)ニ任
ジ、管内事件ノ處理報告ノ掌ニ當ル。

各署ニハ日、支人通譯警官ガ勤務シ、英人當番勤務員ヲ補佐シ、又署長
ヲ補佐スルタメ各區ニ日、支人監察官ヲ置キ、夫々關係事務ニ關シ必要ナ
ル助言ヲナサシムルコト、ナツテキル。
即チ主任官ハ徹底的ニ英人ニシテ、日支人ハ上下ヲ通ジ補佐的位置ニ終
始スルモノデアツテ、主動的活動ヲ許サレザル組織ガコレデ明白トナツタ
ト思フ。

(註一) 昭和十五年三月一日上海日本總領事館ト共同租界市參事會トノ間

ニ正式協定が成立シ、從來ハD區ニ包含サレテキタ嘉興、狄思威兩署ヲ併セ新警察區トシテE區ヲ新設シ、ヨノ區長ニハ邦人警官ヲ任命スルコト、ナツタ。ソノ協定内容ハ次ノ如キモノデアアル。イ、新タニ一警察區ヲ設置シ、之ヲ「E」區トス。ソノ區劃ハ附

圖中「警視總監案」トシテ表示サレタ地域トス。

日本側當局ガ推薦シ且、工部局參事會ノ承認ヲ得タル候補者ヲ「E」區ノ警察區長見習ニ任命スルモノトス。

ロ、日本側當局ガ推薦シ且、工部局參事會ノ承認ヲ得タル候補者ヲC及D兩警察區共通ノ副區長ニ任命スルモノトス。

ハ、E區内狄思威署及嘉興路署ノ署長タル能力アリト認めラレル日本人警察官ヲシテ擔當事務ヲ充分ニ理解サセル爲、數ヶ月ノ間適當ナル外國人警察官ノ下ニ配屬ス。四ヶ月乃至六ヶ月ノ期間經過後ハ右日本人警察官ハ前記警察署ノ署長ニ任命セラレ、事ヲ得ベシ。日本人警察官ニテ資格ヲ有シ繰合セヲ付ケ得ルモノアル時ハ同人ヲシテC區及ビD區内ノ警察署ノ庶務主任ノ事務ヲ分擔セシム。

ニ、日本人警察官ヲE區以外ノ警察署長ニ任命スル可能性ニ就イテハ將來ソノ時ノ事情及ビ繰合セヲ付ケ得ル人員ヲ參酌ノ上考慮サルベシ。

コレハ一部ニ於テ我が方租界工作ノ成功ノ如ク言ハレテモル事實一步ノ前進ニハ相違ナイガ、コレノミヲ以テソノ結果ヲ過大ニ評價スルコトハ、徒ラニ英國側ノ常套的ナ欺瞞政策ニ乗ゼラレルコトニナルデアラウ。何故ナラ、E區ノ區域ハ邦人ノ密集地帯デアツテ、從來日英間ノ紛争多ク全ク厄介視シテ來タ所デアツタノデアアル。從ツテ今コレヲ日本側ニ與ヘルコトハ一面日本ヲ満足セシメ、一面最モ面倒ニシテ英國側ニ實利ナキ地區ヲ分離スルト云フ彼等ニトツテハ一石二鳥的成功デアアル。E區ヲ新設シテモ租界警察權力ノ中樞ニハ無影響デアアル。

ソレニ依ツテ日本側ノ工部局批判ガ少シデモ緩和サレ、バ正ニ一個ノ收穫デアアルト言フノガ英當局ノ肚裏デアアル。更ニ一步突込デ考察スレバ、新設ノE區ニ包含サレル區域ハ、所

謂北部エキステンション區域デアツテ、租界地デハナイ。過去ニ於テモ政治的ニ種々市政府ト紛争ノ起ツタ區域デ、現在コソ日本軍警備區域デアルタメ、紛争ハ起ラナイガ、(滬西越界路問題ニ見ル如ク)將來ハ何レ政治的紛争ノ續發ガ豫想サレ得ル。ソコノ面倒ナエキステンション區域ヲ日本側ニ任セタ英國ノ老獪ナ政策ハ充分警戒サレナケレバナラナイ。

(註二)

各警察署ノチャーチ、ルームハ謂ハ、ソノ警察ノ司令塔デアル。コ、デハ警察本部トノ連絡ヲ始メ各署トノ連絡、警官ノ動員、命令ノ傳達、大小事件ノ處理等々、直接ノ警察事務ヲ執行シテキルガ、コノ大切ナチャージルーム勤務ニハ日本人警官ヲ絶對ニ拒否シテキルノデアル。即チコ、ノ主任ハ英人警部補ニ限ラレテキル。從ツテ租界警察改善ノ第一歩ハコノチャーチ、ルームヘノ日本人警官勤務(主任トシテ)ノ實現ニアルト云ヘル。新設ノE警察區ニ於イテハコレガ實現ヲ見ルデアラウガ、全ジコトヲA、B、C、D區ニ亘ツテ實現サセルコトガ絶對必要デアラウ。

三、刑事課 (Crime Branch)

警務課ガ制服隊ヲ主体トシテ防犯ヲ目的トスルニ對シ、刑事課ハ警務課所屬ノ英、日、支、ロシア人ノ全刑事(管下十四警察ノ刑事室ヲ含ム)ヲ指揮シ、犯人ノ捜査ニ當ルモノデアル。

コ、デモ刑事課長ハ代々英人副總監ガ專任シテ刑事々務全般ヲ監督處理シ、其ノ下ニ英人秘書官ヲ置ク。刑事課本部ニハ卷頭別表ノ如ク七分科ガアリ、刑事課本部刑事室ハ警務課刑事ト連絡ヲ保持スベキハ勿論デアルガ、後者トハ獨立シテ刑事課長直接ノ指揮ノ下ニ活動スルモノデアル。更ニコノ本部刑事課ノ"O"ニハ日本人警視又ハ警部ヲ主任トスル日本人ダケノ刑事室ガアリ、現在ハ中村警視ガソノ主任トナリ、主トシテ憲兵隊、海軍租界部隊、領事館警察等ト連絡シ、日本人關係事件、並ビニ抗日政治犯ノ捜査ニ當ツテキルガ、實際ハ英人課長ノ直屬指揮下デ、且、各區ノ刑事區長トモ單獨連絡不可能デアリ、著シク刑事活動ヲ制限サレ孤立化シテキル實情ニアル。コノ場合ニ於テモ指揮命令權アルボジションヲ日本人側ニ於テ把握シナイ限り、部分的ニ日本人警官ヲ送り込ムダケデハトウニモナラ

ナイコトガ實證サレテキルノデアル。

指紋科ニハ英國倫敦警視廳ニ於テ研究ヲ遂ゲタ専門家ニ依リ、極メテ詳細ナル指紋統計ガ作製サレテキル。現在採用サレテキル指紋法ハ「ヘンリー」式 (Henry System) ヲ基礎トシ、ロレリ「バトラー」式 (Batterley System) ノ併用デアル。

又、租界内重大犯ノ殆ド全部ハ直接拳銃ソノ他ノ火器ニ關係ヲ有スルガ故ニ、コノ取締リヲ嚴重ニスルヲ以テ是等犯罪ノ防止及犯人ノ檢舉捜査ニ多大ノ便宜ヲ與ヘルモノト思ハレルノデアルガ、支那及租界ノ現狀ニ於テコノ取締リハ頗ル困難ナル事情ニアル。即チ武器ノ密輸ガ隣接租界外行政區ノ取締ガ極メテ不備デアルタメニ各種ノ火器ヲ租界内ニ持込ムコトハ至極容易ニ行ハレテキル。サレバトテ火器ノ携帯ヲ自由ニ放任スルコトハ勿論許サルベクモナク、ソノ携帯ヲ嚴重ニ取締ル必要上、所有者ハ鑑札ヲ求ムベキモノトシ、コレガタメニ武器鑑札科ヲ置イタノデアル。上海ノ如キ火器ニ依ル殺人事件ノ頻々タル地ニ於テハ刑事上武器鑑識ノ必要切ナルモクガアル。即チ使用サレタル武器ト彈丸トハ絕對不可分デアツテ正ニ指紋ノ場合ト同一デアルトノ理論カラ、犯罪捜査上必要缺クベカラザル證據ノ

構成トナルモノデアアル。コ、ニ鑑ミテ租界警察ニ於テハ専門家ヲ歐米ニ派遣シテ武器鑑識法ヲ研究サセ最近式機械ヲ備付ケ、完備セル鑑識統計ヲ作製シテキル。

文書係ハ刑事關係書類ヲ分類整理シ、恐喝文書ノ鑑定、犯罪手口ノ調査ニ當リ、精巧ナ寫眞機械ヲ整備シ、迅速ニ且、正確ニ犯罪關係寫眞ヲ作製スルモノデアアル。

麻醉科ハ阿片、ヘロイン等ノ禁制品ノ密賣今尙絶エズ各種ノ犯罪モ之ニ伴ツテ行ハレルノデ密賣者檢舉ノタメニ特ニ設ケラレタモノデアアル。

旅館下宿調査科ハ支那人經營ノ旅館、下宿屋ヨリ止宿人名簿ヲ提出サセ、之ニ依ツテ犯人捜査ノ資料トナスモノデアアル。シカモ是等ノ文書係、旅館下宿調査係等ノ報告ヤ捜査資料ハ全ク英人ニ依ツテ嚴重ニ保管サレ、日本人警官ニハ容易ニ之ヲ見セナイト云フ驚クベキ秘密主義ガ採ラレテキル。

四、特 高 課 (Special Branch)

特高課ハ租界政治警察ノ秘密調査機關トモ謂フベキモノデアツテ、ソノ活動ノ中心ハ情報科デアアル。情報科ハ勞働、政治、思想、其他各方面ノ情

報ノ蒐集、秘密調査ニ任ズルモノデ多數ノ諜報者ヲ使用シ、斯クシテ得タ情報ヲ他課ニ供給シ、又警務及刑事兩課ト聯絡シ犯人捜査ニ當ルモノデア
ル。犯人ノ大多數ガ支那人デ支那官憲トノ交渉ガ最モ必要デアルニ鑑ミ、
特ニ支那側トノ連絡員トシテ支那人監察官ヲ置ク。シカモ日本人ハ翻譯科
及情報科ニ巡查部長級一人ヅ、ヲ配置セシメテキルダケデ、特高課ノ實際
活動ニハ全然觸レシメザル組織トナツテキル。コレハ特高課ノ情報ヲ總テ
英國側ニ於テ獨占シ、且コレヲ他課ノ英人ニ供給スルト共ニ、英國駐屯軍、
並ビニ英國領事館等在支英國各機關ニ供給シテキル。明カニ特高課ハ工部
局警察ノ政治中樞デアリ、英國ノ租界支配ノ參謀本部デアリ、重慶方面ト
ノ連絡、抗日テロ不祥事件等トノ背後關係ニモ常ニ密接ナ關係ヲ有シテキ
ルコトハ疑フ餘地ガ無イ。

ソノ意味デ特高課ハ英國ブラツク、チエムバーノ上海ニ於ケル最重要ナ
出店^{ブランチ}デアルト云ヘル。

租界内各活動寫眞館ノ營業ハ勿論、映畫ハ上映前租界警察ノ許可ヲ受ク
ベキモノデアツテ、コレモ特高課ノ仕事ノ一ツトナツテキル。

又、英國自身ノ必要カラ上海ニ於ケル印度人ノ動向ヲ監視スルタメ、印

度人係ヲ置イテキル。共同租界警察ハソノ費用ニ依ツテ不都合ニモ英國領
事館ノナスベキ仕事ヲ負擔シテ居ルノデアル。

新聞雜誌ノ檢閲及翻譯モ特高課ノ職務ニシテ、租界ノ公安ヲ紊スモノデ
アリト認メルトキ、又ハ支那出版法ニ違反スルモノアル場合必要ナル法的
處置ヲ講ズル建前トナツテキル。

然シナガラ、新聞雜誌ノ檢閲ノ如キハ、凡ユル場合ニ於テ英國ノ利害ヲ
基準トシ、然ラザル場合ノ檢閲ハ有名無實トナツテキル。現ニ上海事變前
ハ勿論、ソノ後ニ於テモ依然繼續スル反日新聞雜誌ノ取締ノ如キハ極メテ
緩慢デ當初ニ於テハ寧ろ是等反日紙ノ活動ヲ獎勵援助スルガ如キ行爲デア
ツタ。

特高課ノ裏面活動ノ價值ハ英國ニ取ツテ極メテ重大ナモノデアツテ、英
國ハ租界ノ費用ヲ以テ、上海ヲ中心トスル國際的政治經濟文化各般ニ巨ル
秘密調査ヲ完遂シテキル。租界警察ガ英國ノ特務機關ナリト稱セラレ、忠
實ニソノ役割ヲ演ジテ來タノハ實ニ租界警察中ニ於テモ特高課ガソノ最モ
大ナルモノデアル。

交通課ノ組織ヲ述ベルニ先ダチ、説明スベキ必要ノアルノハ上海ノ交通量デアアル。共同租界ノ道路ハ幹線ニ於テハ近代的ニ舗装サレ、ソノ改装、修繕ニハ毎年多額ノ經費ガ費サレテキルノデアアルガ、交通量ニ比シ路面廣カラズ、支線路ニ至ツテハ幅員ノ狹隘ナ上ニ舗装ガ満足デナイタメ大イニ交通整理ヲ困難ナラシメテキル。

歐米ニ於テハ交通量ノ大ナルニ拘ラズ適當ニ整理サレ、事故モ比較的少ナイト云フコトハ、道路ノ完備ト車輛ノ統一トイフコトニ原因スル。上海ノ路上ニハ最新式高級自動車ガ疾走スルト共ニ、支那式一輪手押車ガ列ヲナシテキル。更ニ有軌道電車、無軌道電車、バス、馬車、自轉車、大車、小車手押一輪車ニ至ル一切ノ車輛ヲ合計スレバ約九萬臺トナル。

コノ内自轉車三萬五千臺、人力車二萬臺、大車小車一萬七千臺、一輪車六千臺ニ對シ、全自動車臺數ハ一萬臺ヲ僅カニ超過セル有様デ舊時代ノ車輛ガ斷然多數ヲ示シテキル。

共同租界登録ノ車輛ノミデ既ニ九萬臺ノ多數ニ達スルノデアアルガ隣接地域及ビ佛租界登記ノ車輛ヲ加算スレバ租界内往來ノ車輛數ハ更ニ大ナルモノトナル。

斯クノ如ク各種各様ノ多數車輛ガ同一路面ヲ往來スルタメ速力ノ相違ヨリ交通状態ヲ混亂セシメ、事故、發生率ヲ大ナラシメテキルノデアアル。

交通課々長ニハ英人警視總監補ガコレニ任命サレテキル。其下ニ第一、第二課及ビ人力車監督室ガアリ、何レモ英人ガソノ主任トナツテ居ル。第一課ハ車輛検査係、交通事故統計係、及ビ交通係ニ分科セラレ、第二課ハ交通事故報告ヲ整理シ、コレガ起訴手續ヲ處理シ、又行列許可及ビ自動車運轉免狀發給事務ヲ取扱ツテキル。此ノ課ノ反日敵性トシテ注目サレルモノニ在租界日本側機關及銀行會社等ニ出入スル自動車調査ノ徹底的ニ行ハレテキルコトデアアル。

次ニ人力車監督室ニ關シ簡單ニ報告スレバ共同租界登録ノ人力車數ハ前記ノ如ク約二萬臺デソノ一半ハ自家用車デ他ハ辻待車デアアル。コレハ少數ノ貸元ノ所有ニ屬シ、一日ヲ午前、午后、及夜間ニ區分シ、夫々使用料ヲ定メテ苦力ニ賃貸スルモノデアアル。コノ人力車貸元ト監督室ノ關係ハ頗ル奇怪デアアル。即チ車体検査及賃貸料ノ制限等ハ有名無實デアツテ、ソコニ結託行爲ノ行ハレテキルコトハ當然トサレテキル。

同課ハ初代課長ニ上原蕃副總監ガ就任シ（現在ハ掛川總監補）昭和十四年十一月十日新設セラレタモノデアルガ、ソノ内容ヲ検討スルニ先ダチ、ソノ前身タリシ特別政治課新設置ノ由來及ビソノ活動等ニ關シ報告スル必要ガアル。

特別政治課ハ一九三五年十一月九日ノ中山兵曹射殺事件、並ビニ其後尖鋭化セル排日問題調査ノタメ特ニ設置サレタモノデアツテ、最初ノ課長（Special Political Officer）ハ英人警視總監補ガ之ニ任命セラレ係員トシテ日、英、支、人刑事ノ配屬ヲ見タノデアル。特政課ノ設置ヲ見ルヤ、邦人係官ハ事件ガ直接日本ノ威信ニ關スル問題デアツタメ非常ナル熱意ヲ以テ犯人捜査ヲ開始シタノデアル。然シ中山兵曹射殺事件ガ抗日テロ團ノ計畫的ナ犯行デアツタメ、捜査ノ端緒ヲ得ルサヘ容易デハナク問題ハ遅延トシテ進捗セズ、遂ニ完全ナル協力ヲ期待シ得ザル英、支警察官ヲ除外シ、捜査ノ責任ヲ擧ゲテ日本人係官ノ負フルトコロトナツタ。カクテ事件發生以來半年ニ亘ル日本人係官ノ努力ニヨリ本事件ノ眞犯人ハ逮捕セラレ、租界ニ於ケル支那秘密結社組織ノ一部ガ曝露サレタノデアル。

中山事件ノ公判ガ進行シ世人ハ多大ノ關心ヲ以テ其成行ヲ監視セル折柄、

一九三六年七月十日再ビ日本人ガ租界ニ接近セル支那側地域ニ於テ殺害セラル、事件ガ起リ、又成都及北海ニ於テモ邦人ノ慘殺事件相次ギ、其犯人ノ逮捕ヲ見ザルウチ同年九月二十三日又復共同租界邦人居住地域ノ中心タル海濱路ニ於テ日本水兵殺傷事件ノ突發ヲ見ルニ至ツタ。茲ニ於テ日支間題ノ視廳ハ上海ニ集中セラレ、海濱路事件ノ解決ハ勿論、排日テロ行爲ノ彈壓ニ關シ日本側輿論ハ一致シテ租界警察ノ善處ヲ要望シタメ、總監モ全ク窮シテ英人特別政治課長ヲ日本人上原蕃副總監ニ替ヘタノデアル。

茲ニ於テ特政課ハ形式、實質共ニ日本人警官ヲ組織ノ一單位トシテ難事件ノ捜査ニ邁進スルコト、ナツタ。カ、ル中ニモ同年十一月十一日匯山路桃源里ニ於テ是亦前犯行全様ノ手段ニ依リ日本郵船會社水夫ガ射殺セラレタ事件ガ起リ益々特政課ノ活動ガ期待サレルニ至ツタ。

從ツテ特政課邦人係官ハ不眠不休ノ努力ヲ以テ犯人ノ捜査、抗日テロ團ノ彈壓ニ没頭スルト共ニ他方日本官憲トノ聯絡ヲ密ニシ排日政治運動ノ調査ニ當ツタノデアルガ、工部局警察當局ハコノ日本人ノミノ組織ニナル特政課ヲ白眼視シ一切ノ捜査活動ニ協力セザルノミナラズ、時ニハ各課トノ連絡其他ニ於テ防害ヲ試ミル等、明白ナル敵性行爲ハ屢々繰返サレテキタ

爲ニ、充分ナル活動成果ヲ擧ゲ得ナカツタ。即チ當時一部在留邦人間ニ特政課非難ノ聲ノアツタノハ右ノ如キ事情ガ原因トナツテキタモノデアアル。翌一九三七年八月十三日、戰禍ハ中支ニ波及シ犯人ノ搜查等頗ル困難トナルト共ニ、特政課ノ事務ハ重要情報蒐集及ビ日本軍憲トノ聯絡ニ集中セラレルコト、ナツタ。

斯クノ如ク特政課ノ設置ハ中山兵曹射殺事件ノ調査ニ端ヲ發シ、其後ノ排日諸問題ノ處理ニ在ツタノデアアルガ事變ノ進行ト共ニ租界事情ノ變化ト邦人勢力ノ抬頭ニ依リ遂ニ昭和十四年十一月十日、人員ヲ擴張シテ、日本課トナシタノデアアル。

日本課ノ設置事情ハ以上ノ如クデアツテ、英人以外ノ幹部ガ一課ノ長トシテ責任アル地位ヲ占メタコトハ租界警察史上特筆スベキ事實デアアルガ具サニソノ内容ヲ検討スレバ、依然聯絡機關タルノ地位ヲ脱セズ、英人以外ノモノ、自由且ツ積極的活動ヲ封ゼントスル傳統の英國ノ租界政策ガ巧ミニ織リ込マレテキル。之ニ關スル具體的ナル批判ハ後章ノ工部局警察ニ於ケル反日敵性ノ總括的批判ニ讓ルコト、シ、コ、デハ日本課ノ内容ヲ警視總監令ヲ引用シテ明ラカニスルニ止メル。

(警視總監令第一四五號)

日本課 (Japanese Affairs Branch)ノ設置ニ關スル指令

昭和十四年十一月十日ヨリ特別政治課 (S・P・O)ヲ廢止シ同日ヨリ日本課ヲ設置ス。上原警視副總監ヲ同課々長トス。同課ノ組織概要左ノ如シ。

一、名 稱 日 本 課

二、擔任事務

イ、日本官憲及日本人團體ト聯絡シ警察本部ノ活動ヲ敏速ナラシメ各區長ニトリ必要ナル活動ヲ指示シ且ツ一般情報ヲ蒐集スルコト。

ロ、警備ヲ必要トスル諸事項ハ充分ニ且ツ迅速ニ警務課長ニ通報スルコト。

同課長不在ノ際ハ刑事課長又ハ事情ニ依リ關係區長ニ通報スルコト。

ハ、現存警察組織ノ圓滑ナル運用ヲ促進スルガため日本人ニ關係アル事件ニハ聯絡官ノ資格ニテ立會フコト。

ニ、各警察区内ニ於ケル外部トノ圓滑ナル聯絡達成ノタメ各署又ハ各區長ノ要求ニ依リ援助供與スルコト。

三、組織

イ、課長 警視副總監

主任 日本人警部又ハ警部補

課員 日本人巡查部長 一名

全 見 習 四名

ロ、日本課長ノ資格 *P. O. (T. A. B.)*

日本課長トシテ所屬官ヲ指揮監督シ他課長ノ場合ト同ジク直接總監ニ對シ責任ヲ負フモノトス。事務遂行ニ當リテハ他課長ノ要求アリタル場合ハ勿論其ノ援助ノタメ圓滑且有効ニ職務遂行ニ任ズベキモノトス。

四、事務遂行

遂行セラルベキ事務上ノ配備ハ日本課長ノ責任タルベク所屬官ノ事務分擔ハ總監ニ報告スベキモノトス。

七、教習所及武装豫備隊 (Armed Reserve Unit)

教習所ハ巡查ノ養生所デアアル。租界警察ハ前述ノ如ク日、英、印、支ノ四人種ヨリ成リ豫算ニ規定セラレル各階級ノ定員ヲ超過スルコトヲ得ナイ。巡查ノ場合ソノ定員數ニ達セズ之ヲ補充スルノ必要アル場合ハ之ヲ隨時行フコトガ出來ル事トナツテキル。

英人警官ハ英本國ニ於テ募集セラレ上海ニ送ラレタル後、三ヶ月乃至四ヶ月ノ教習ヲ受ケ直チニ巡查部長見習ニ任ゼラレタガ、最近ハ租界財政緊縮ノタメ且ツ現地ニ於テ募集スルヲ經濟且ツ有効ト認メ英國デノ募集ヲ中止シ、上海在住ノ英人青年ノ希望者ノ中カラ採用シ尙不足ノ場合ハ白系ロシア人其他ノ外人ヲ採用シテキル。

日本人巡查ハ日本内地ニ於テ募集スルト共ニ又上海ニ於テ志願者ヲ募リ採用シテキル。

教習ノ期間ハ三ヶ月乃至四ヶ月デアアル。教習科目ハ左ノ如クデ日、英人共大体同様デアアル。

- (一) 上海ノ地理、歴史。
- (二) 土地章程、同附則及諸規則。
- (三) 支那法學通論

主トシテ刑法。(四)一般常識。(五)支那語。(六)体操教練。(七)武器操縱。(八)實地見學。(九)日本人ノ場合ハ英語。

印度人巡查ハ主トシテ交通整理及ビ巡邏勤務ニ服シ、目下多數ノ缺員ガアルガ補充セラレテキナイ。

租界警官人員ノ七割以上ヲ占ムル支那人巡查ハ各種ノ事情ニ依リ異動多ク、絶エズ相當數ノ缺員ヲ見ルノデアル。之ガ爲毎週一回巡捕ノ募集ガ行ハレ、ソノ採用試験モ極メテ簡單デ教習ハ約九ヶ月ニ及ビ軍隊的訓練ヲ經ルモノデアル。然シソノ爲ニ素質ノ悪化ヲ免レズ、且、抗日便衣隊ヤ敗殘兵ノ如キ異分子ノ潛入ヲ防止シ得ナイ實情デアアル。

租界警察ノ組織中特殊ノ存在ハ武裝豫備隊デアアル。上海ノ犯罪及ビ其他警察事故ノ特殊性ニ鑑ミ、武裝豫備隊ヲ設ケ、示威運動、罷業、暴動等ノ場合關係警察署員ヲ應援シ、其彈壓ニ當ルモノデ、之ガ爲ニハ隊員ヲ一定ノ宿舍ニ收容シ事件勃發ノ際、何時デモ出動シ得ル準備ヲ整へ、非常自動車ナル大型赤色自動車ニハ催淚銃、棍棒、輕機關銃、防彈衣、防彈楯等ヲ用意シ、又同自動車ハ約五十名ノ武裝官ヲ收容シテ現場ニ出動シ得ル仕組トナツテキル。

平常時ニ於テハ待機員以外ニハ各署ノ應援トシテ普通警備勤務ニ就ク、シカモ茲デモ重視スベキハコノ豫備隊ノ中、武器裝具ノ點デ優秀ナ、西部豫備隊ハ日本人ヲ一人モ入レズ、英、支人ヲ以テ組織サレ英人隊長(總監補)ノ下ニ指揮動員サレ、常ニイギリス權益擁護ノタメニ動カサレテキルト云ツテモ差支ヘナイ。

八、義 勇 巡 査 隊

第一次歐洲大戰當時、英國ニ於テハ戰爭ノ長期繼續トトモニ警察官中志願出征シタ者ガ多數ニ上リ、警務遂行上、甚シク手不足ヲ感ジタ。然シ之ノ補充ハ容易ナラザルモノガアツタ爲、一般市民男子ニシテ義勇的ニ警察ヲ援助スルモノヲ募集シ、簡單ナ訓練ノ後、巡邏警備ニ當ラセタ處、其ノ成績ハ極メテ良好デアツタ爲、大戰後常態ニ復シタ後ニ於テモ、義勇巡查制度ヲ維持存續シ、必要アル毎ニ、之ヲ召集シ正規警官ヲ援助サセル事トシタ。

上海ニ於テモ大戰當時、現職英國警官ノ中志願出征シタ者ハ相當數ニ達シ警官數ノ不足ヲ來シタ爲租界警察ニ於テモ英本國ニ倣ヒ、在留各國青年

男子中ヨリ希望者ヲ募リ義勇巡查隊ヲ組織シ、正規警官ノ巡邏勤務ヲ補佐セシメタノデアルガコノ制度ヲ現在尙存續シテキルノデアアル。

義勇巡查隊ノ組織、階級、服裝等ハ正規警官ノ場合ト何等異ナル處ナク、義勇巡查隊長英人副總監ハ、警視總監ノ指揮監督ノ下ニ隊ヲ統率シテキル。コノ義勇隊巡查ハ無報酬デアリ、又何レモ他ニ職業ヲ持ツテキル故ニ、當時勤務ニ就クコトガ出來ナイタメ、適時、點呼、檢閲ヲ受ケ、非常ノ場合ニ直チニ召集ニ應ジル義務ガアルコト、ナツテキル。

上海ノ土地柄、義勇巡查ハ日、英、米、葡、支各人種ヨリ成リ夫々ノ隊ニ編成サレテキル。隊員數ハ各隊ヲ合セテ五百名ニ達スル。

九、刑務所

會審衙門開設當時、支那側警務所へ衛生其他ノ設備ニ於テ何等見ルベキモノナク、囚人ヲ遇スルニ慘虐ヲ極メ、社會人道上見ルニ忍ビヌ有様デアツタ。ソレデ租界當局ハ囚人ノ引渡シヲ拒絕シ、別ニ刑務所ヲ設置シ、適當ノ設備ノ下ニ服役セシメルコト、セル當時ノ制度ヲ、司法權ヲ完全ニ支那側ニ返還シタ今日ニ於テモ、尙繼承シ、實施シテキルノデアアル。

從來刑務所長ハ警視總監ガ兼任シテキタノデラルガ、一九三六年九月以降、別ニ刑務所長ヲ置キ、警視總監ノ監督ヲ受ケルコト、ナツタ。刑務所員ハ英人所長及副所長以下英人七十八名、印度人二百九名、支那人二百五十九名デアアル。

租界刑務所ハ從來廈門路及華德路ノ二ヶ所ニ在リ、前者ハ外人收容ニ、後者ハ支那人收容ニ充テラレテキタガ、一九三五年九月以降廈門路刑務所ハ之ヲ閉鎖シ、華德路刑務所ヲ増築シ、全囚人ヲ收容スルコト、ナツタ。尙刑務所ニハ幼年囚ノ爲ニ感化院ノ設備ヲ有スルノデアアル。右刑務所ノ最近數年間ノ一日平均收容人員ハ五千乃至六千ニ達シ、一年以上ノ服役者ガソノ多數ヲ占メテキル。

斯クノ如ク租界ハ服役者ノ爲ノ刑務所ヲ自ラ設置シ、又監守員トシテ六百名ヲ超エル吏員ヲ使役シ、年額約百五十萬弗ノ經費ヲ以テ之ヲ維持シテキル。最近租界經費節約問題ガ租界行政上、重大案件トシテ論議サレテ居ル際、コノ刑務所經費モ亦論議ノ的トサレテキル。蓋シ司法權ヲ支那側ニ移讓シタ今日、依然トシテ支那人囚人ヲ租界側ノ負擔ニ於テ服役サセル理由ハ毫モ無イト云フニ在ル。故ニ支那側ノ刑務所ガソノ内容ヲ、租界側ノ

共同租界警察人員表

階級	國籍	日	外	支	印	計
警視總監			1			1
特別副總監		1				1
副總監			5	1		6
總監補		1	6	1		8
監察官		3	11	6		20
警視		3	10	8		21
警部		7	52	22	4	85
警部補		11	102	60	4	177
巡查部長		93	180	392	84	749
部長見習		161	77		22	260
巡查				3,149	395	3,544
合計		280	444	3,639	509	4,872
書記及事務員		4	35	318		357
總計		284	479	3,957	509	5,229

満足シ得ル程度ニ改善サセタ曉ニハ、支那人既決囚ハ全部支那側ニ引渡シ、未決囚及ビ外人囚人ノミ租界刑務所ニ收容スルコト、スレバ、支那側ノ立場モ認メラレ、且、租界ノ經費節約ノ上ニ効果ガアルモノト云ハレテキルノデアル。

十、警察番人制度

上海ノ特殊性ニ基キ銀行會社等デハ護衛ノ爲ニ番人ヲ使用スル處ガ頗ル多イ。コレヲ各自任意ニ雇備シ、又拳銃等ノ武器ヲ携帯スルタメ租界警察ニ於テコレヲ統制シ、取締ルタメニ警察内ノ一業務トシテ警察番人 (Police Watchman) ヲ募集シ、之ヲ訓練シテ需要者ノ需メニ應ジテキル。

現在、警察ノ監督ヲ受ケテキル番人ハ合計四千三百名ヲ超エ、露人百名、印度人三百名、支那人三千九百名デアル。

右番人制度ヲ組織化シテ巧妙ニ活用シテキルノハ特高課デアルガ後章ニ於テソノ内容ヲ明ラカニスル。

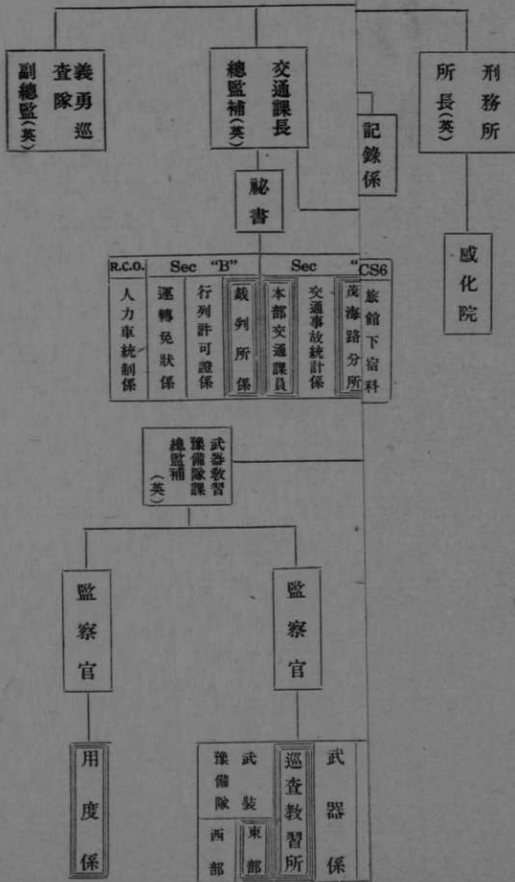
右ヲ以テ工部局警察組織ノ説明ヲ終ル。



印は日本人警官を含む
ボデション



印は全員日本人



上海共同租界警察機構

印は全員日本人
 印は日本人警官を含む
 ボデション

